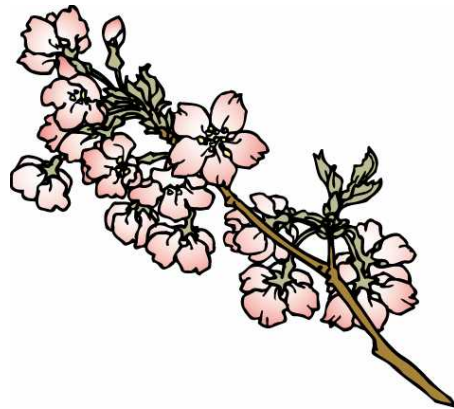




なかしん

# 景況レポート



2010年 春

No.101

中兵庫信用金庫

経営企画部

# 第 101 回 なかしん中小企業景気動向調査

(平成 22 年 3 月)

当金庫では、四半期ごとに景気の状態を知る一助として、お取引先のご協力により景気動向調査を実施しております。以下は、平成 22 年 3 月を調査時点とする平成 21 年度第 4 四半期(平成 22 年 1 月～3 月)実績(3 月は予想)、及び平成 22 年度第 1 四半期(平成 22 年 4 月～6 月)見通しについての調査結果です。

経営者の方々をはじめ、関係皆さまのご参考になれば幸いです。

調査時点	平成 22 年 3 月
調査対象	中兵庫信用金庫お取引先 [別表 1]
調査方法	聞き取り法
依頼先数	424 先
有効回答数	419 先 (回答率 98.8%)
その他	この調査における景気判断の基準として、ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index, 略してDI、拡散指数という)による方法を採用しています。 これは、生産・販売・在庫・収益等について前期に比較して、(A)増加(あるいは「上昇」)(B)変わらず、(C)減少(あるいは「下降」)のいずれかに回答していただき、この(A)(B)(C)の回答割合(%)のうち(A)から(C)を差し引いた値(DI)を時系列的に観察することによって景況をみる方法です。

[別表 1] 業種別構成

業種	依頼数	回答数
製造業	105	105
卸売業	39	39
小売業	108	106
サービス業	61	60
建設業	78	76
不動産業	33	33
合計	424	419

[調査地域]

丹波市・篠山市・三田市  
西脇市・多可郡・加東市  
三木市・小野市  
神戸市北区・西宮市北部  
福知山市

# 1. 今期景況の実績について

## 1. 総合的景況判断

### 平成 22 年 3 月期業況判断指数

項目 分類	H21 年 12 月期	H22 年 3 月期	- 増 減	H22 年 6 月期 予 想
製 造 業	4 1 . 2	4 5 . 7	4 . 5	3 9 . 1
非 製 造 業	5 0 . 0	4 5 . 0	5 . 0	4 7 . 3
全 業 種	4 7 . 8	4 5 . 3	2 . 5	4 5 . 2

#### ○前回調査比

製造業は前回調査より 4.5 低下し D I 指数 45.7 となった。しかし H22 年 6 月期予想は 6.6 の上昇予想となり、D I 指数 39.1 となっている。

非製造業では、前回調査より卸売業が 5.1 低下したが、その他の業種については上昇した。内訳はサ - ビス業が 12.3 、不動産業 9.3 、建設業 5.3 、小売業 2.7 となっている。全業種では D I 指数が 45.3 と依然低水準であり厳しい状況が続いている。H22 年 6 月期予想はほぼ横ばいで上昇の兆しはない。

(9 ページ参照)

#### ○前年同期比

前年同期比では製造業が 19.4 の上昇、非製造業全体では 11.6 上昇している。内訳をみると、サービス業 18.5 、卸売業 15.5 、不動産業 13.9 、建設業 10.4 、小売業 5.7 上昇している。

ここ 1 年間では、全業種とも上昇し全体では 13.4 の上昇となっている。

(9 ページ参照)

## 業種別業況判断

### 製造業

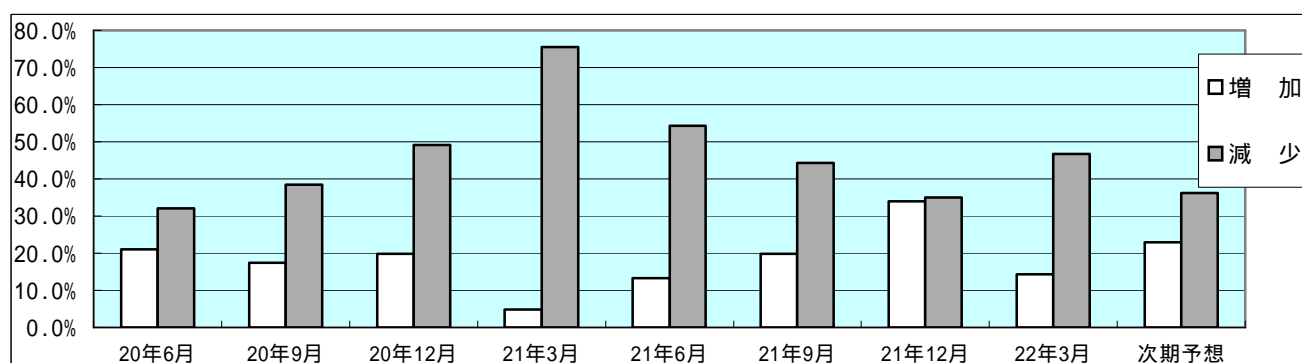
業況DIは前回調査より 4.5 低下し 45.7 となっている。また生産販売は 31.4 低下しDI 32.4、収益DIも 18.8 低下し 36.2 となり、生産販売、収益面ともに前回調査から悪化した。

次期予想では、業況DIが 6.6 上昇の 39.1、生産販売DIは 19.1 上昇、収益DIも 19.1 上昇で改善見通しとなっている。

(9・10・11・18 ページ参照)

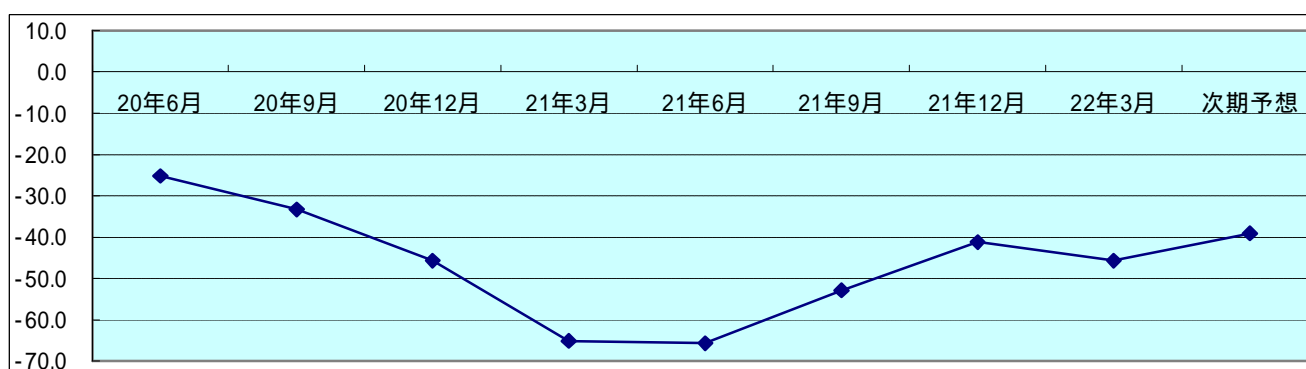
売上額増減企業数の推移

	20年6月	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	次期予想
増加	21.1%	17.4%	19.8%	4.7%	13.3%	19.8%	34.0%	14.3%	22.9%
減少	32.1%	38.5%	49.1%	75.5%	54.3%	44.3%	35.0%	46.7%	36.2%



業況DIの推移

20年6月	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	次期予想
25.2	33.3	45.7	65.1	65.7	52.9	41.2	45.7	39.1



## 卸売業

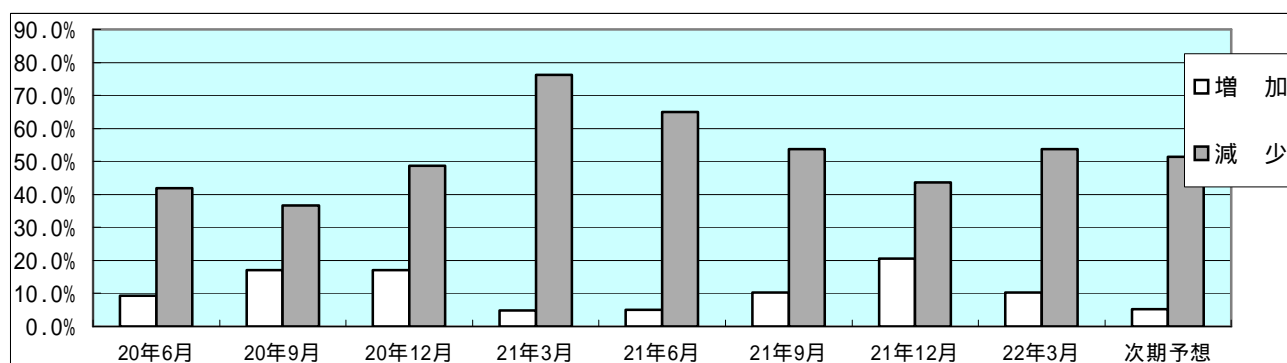
業況DIは前回調査より 5.1 低下し 48.7 となっている。生産販売DIは 20.4 低下し 43.5、収益DIでも 12.7 低下し 41.0 となり、生産販売、収益面ともに前回調査から悪化した。

次期予想については、業況は横ばいの 48.7、生産販売は 2.7 の低下、収益も 2.6 低下し、いずれもわずかながら悪化見通しとなっている。

(9・10・11・18 ページ参照)

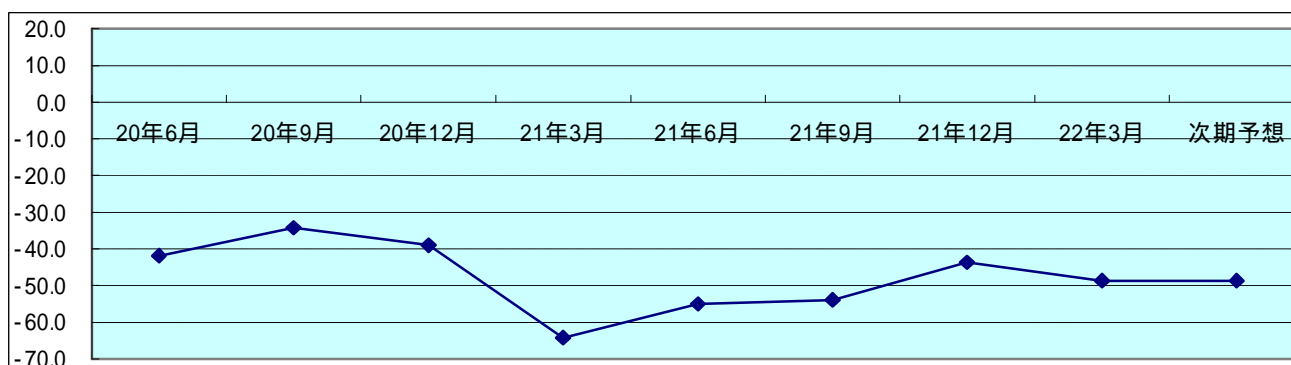
### 売上額増減企業数の推移

	20年6月	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	次期予想
増加	9.3%	17.1%	17.1%	4.8%	5.0%	10.3%	20.5%	10.3%	5.1%
減少	41.9%	36.6%	48.8%	76.2%	65.0%	53.8%	43.6%	53.8%	51.3%



### 業況DIの推移

20年6月	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	次期予想
41.8	34.2	39.0	64.2	55.0	53.9	43.6	48.7	48.7



## 小売業

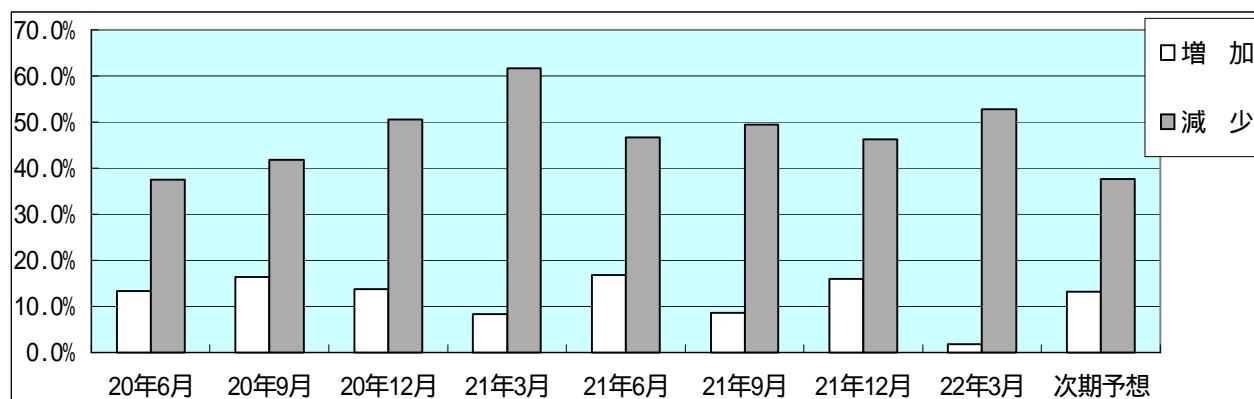
業況DIは前回調査より2.7 上昇し 49.1 でほぼ横ばいである。売上DIは20.7 低下し 50.9、収益DIも10.3 低下し 48.1 となり、売上、収益面ともに前回調査から悪化した。

次期予想では、業況DIは3.8 上昇し 45.3、売上DIは26.4 上昇、収益DIも19.8 上昇し、いずれも改善見通しとなっている。

(9・10・11・18・ページ参照)

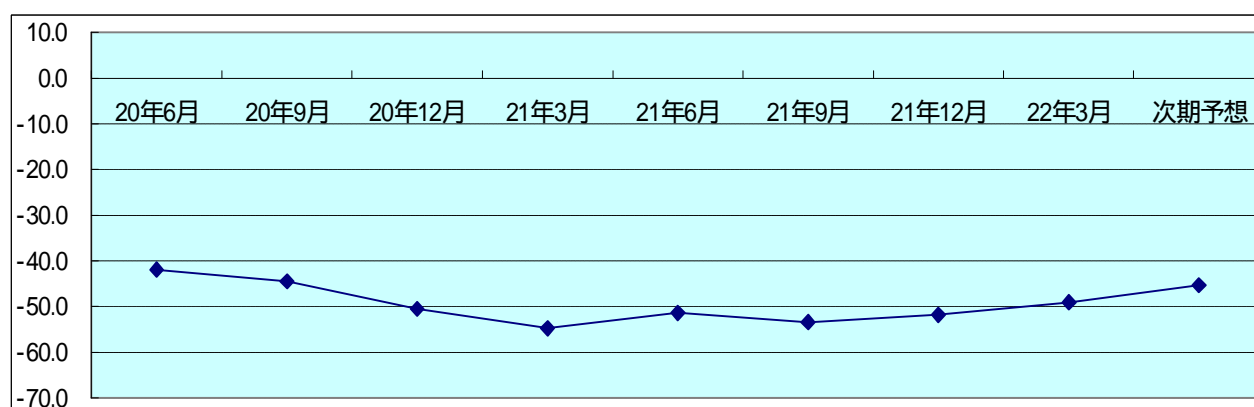
売上額増減企業数の推移

	20年6月	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	次期予想
増加	13.4%	16.4%	13.8%	8.4%	16.8%	8.7%	16.0%	1.9%	13.2%
減少	37.5%	41.8%	50.5%	61.7%	46.7%	49.5%	46.2%	52.8%	37.7%



業況DIの推移

20年6月	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	次期予想
41.9	44.5	50.5	54.8	51.4	53.4	51.8	49.1	45.3



## サービス業

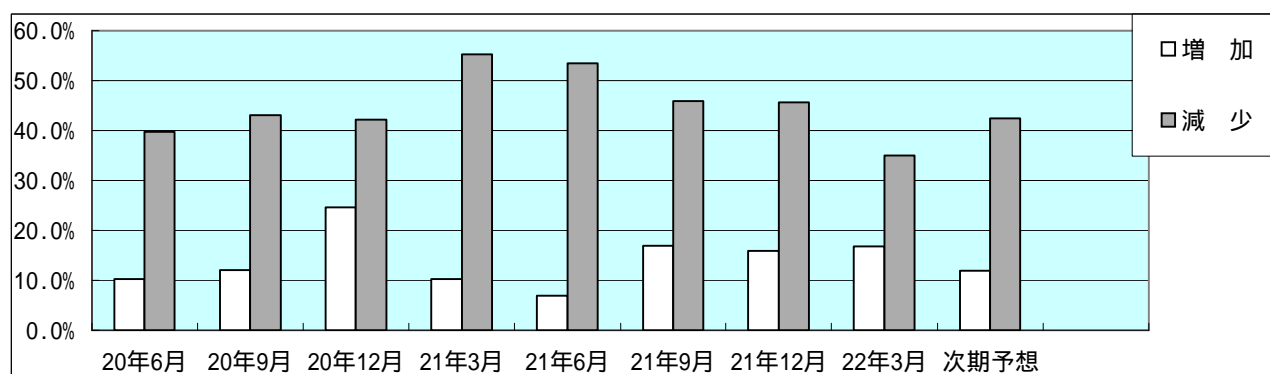
業況DIは12.3 上昇し 33.3 となっている。売上DIは11.5 上昇し 18.3、収益DIは4.7 上昇し 23.4で、売上、収益とも改善した。

次期予想は、業況DIは8.4 低下の 41.7である。売上DIは12.2 低下、収益DIも12.2 低下し、いずれも悪化見通しとなっている。

(9・10・11・18 ページ参照)

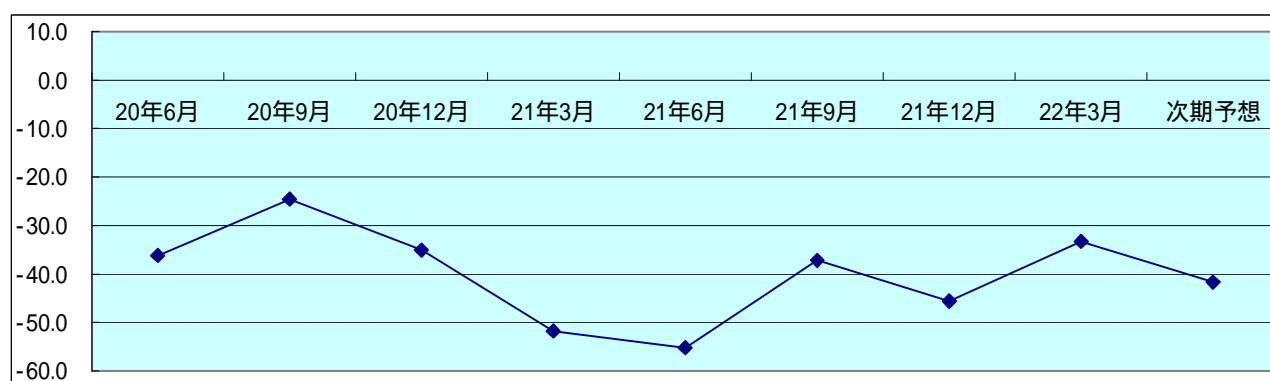
### 売上額増減企業数の推移

	20年6月	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	次期予想
増加	10.3%	12.1%	24.6%	10.3%	6.9%	16.9%	15.8%	16.7%	11.9%
減少	39.7%	43.1%	42.1%	55.2%	53.4%	45.8%	45.6%	35.0%	42.4%



### 業況DIの推移

20年6月	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	次期予想
36.2	24.6	35.1	51.8	55.2	37.2	45.6	33.3	41.7



## 建設業

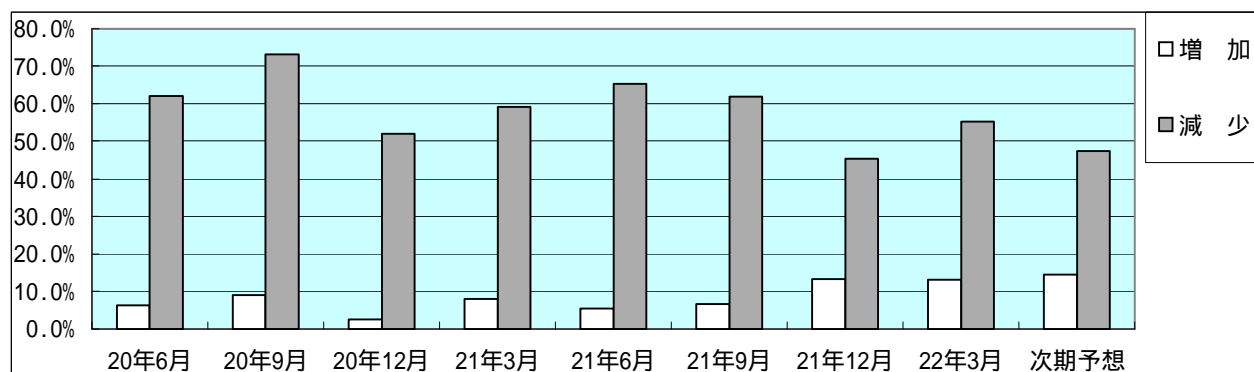
業況DIは前回調査より 5.3 上昇し 46.7 となっている。売上DIは 10.1 低下し 42.1、収益DIは 3.1 上昇し 38.2 となり、収益は若干改善したが売上については悪化した。

次期予想は、業況DIは 6.7 低下の 53.4、売上DIは 9.2 上昇、収益DIは 6.6 上昇見通しとなっている。

(9・10・11・18ページ参照)

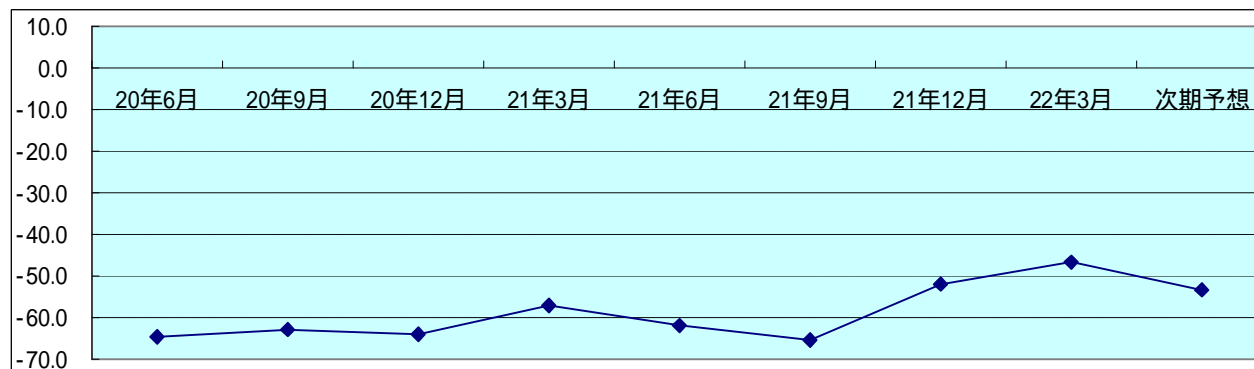
### 売上額増減企業数の推移

	20年6月	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	次期予想
増加	6.3%	9.0%	2.6%	7.9%	5.3%	6.6%	13.3%	13.2%	14.5%
減少	62.0%	73.1%	51.9%	59.2%	65.3%	61.8%	45.3%	55.3%	47.4%



### 業況DIの推移

20年6月	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	次期予想
64.6	62.9	64.0	57.1	61.9	65.4	52.0	46.7	53.4



## 不動産業

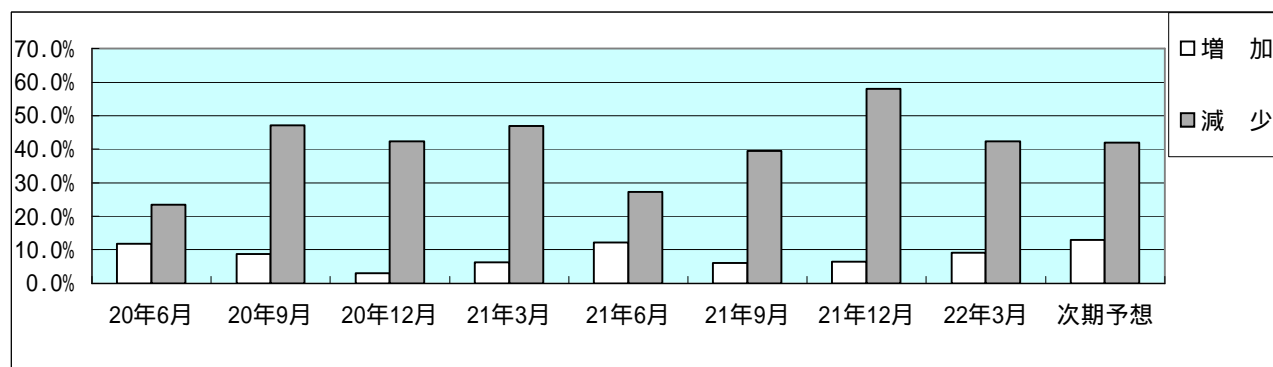
業況DIは、9.3 上昇し 45.5となっている。売上DIは18.3 上昇し 33.3、収益DIも18.3 上昇し 33.3と大幅に改善した。

次期予想は、業況DIが3.0 低下の 48.5、売上DIは4.3 上昇、収益DIも2.1 低下の見通しとなっている。

(9・10・11・18ページ参照)

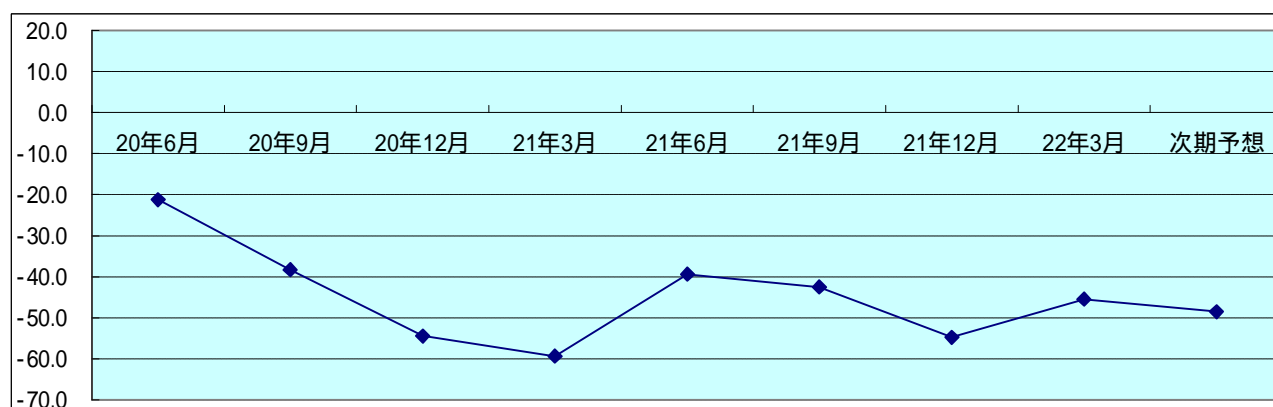
### 売上額増減企業数の推移

	20年6月	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	次期予想
増加	11.8%	8.8%	3.0%	6.3%	12.1%	6.1%	6.5%	9.1%	12.9%
減少	23.5%	47.1%	42.4%	46.9%	27.3%	39.4%	58.1%	42.4%	41.9%



### 業況DIの推移

20年6月	20年9月	20年12月	21年3月	21年6月	21年9月	21年12月	22年3月	次期予想
21.2	38.3	54.5	59.4	39.4	42.5	54.8	45.5	48.5

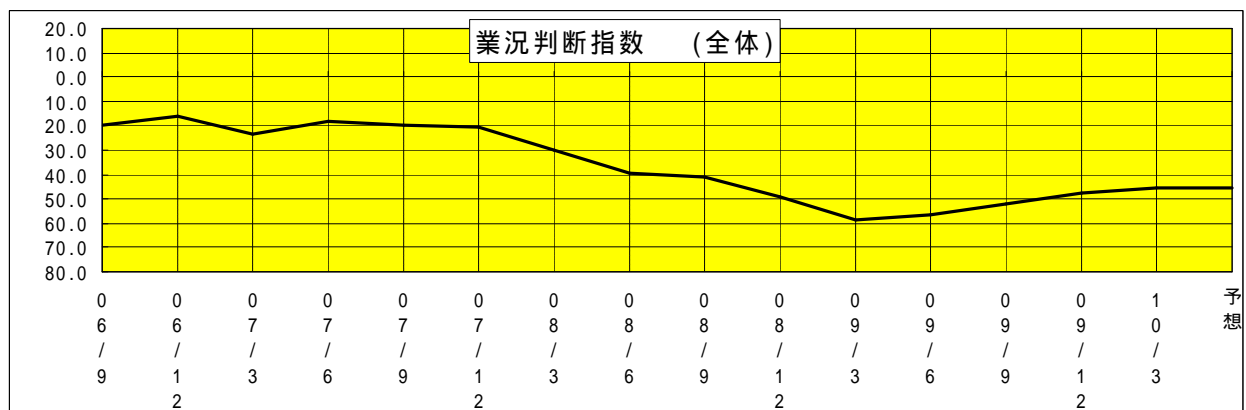


## 業 況 の 推 移

調査時点 \ 変動	良 い A	普 通 B	悪 い C	D I (A - C)
H21年 1～ 3月	3.8	33.7	62.5	58.7
H21年 4～ 6月	4.3	34.6	61.1	56.8
H21年 7～ 9月	5.5	36.7	57.8	52.3
H21年 10～ 12月	8.5	35.2	56.3	47.8
H22年 1～ 3月	6.9	40.9	52.2	45.3
見通し 4～ 6月	7.4	40.0	52.6	45.2

## 業 種 別 業 況 (平成 22 年 1 月～ 3 月)

業種 \ 変動	良 い A	普 通 B	悪 い C	D I (A - C)	前回調査 D I	前年同期 D I	次回予想 D I
製 造 業	9.5	35.3	55.2	45.7	41.2	65.1	39.1
非 製 造 業	6.1	42.8	51.1	45.0	50.0	56.6	47.3
( 卸 売 業 )	7.7	35.9	56.4	48.7	43.6	64.2	48.7
( 小 売 業 )	2.8	45.3	51.9	49.1	51.8	54.8	45.3
( サービス業 )	10.0	46.7	43.3	33.3	45.6	51.8	41.7
( 建 設 業 )	8.0	37.3	54.7	46.7	52.0	57.1	53.4
( 不 動 産 業 )	3.0	48.5	48.5	45.5	54.8	59.4	48.5
全 体	6.9	40.9	52.2	45.3	47.8	58.7	45.2



## 2. 生産・販売状況

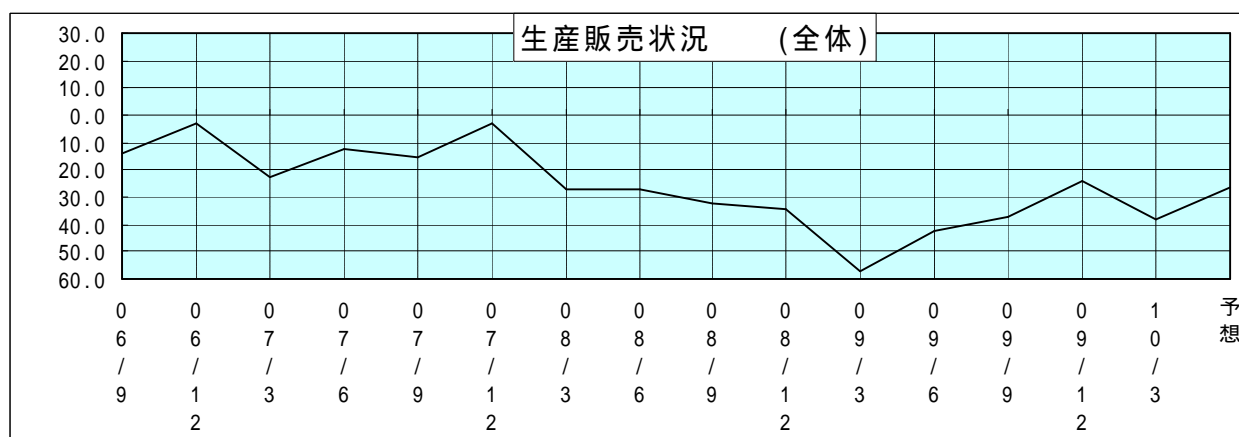
生産・販売状況は前回に比べ「増加した」とする企業は9.2 減少、「減少した」とする企業が4.6 増加したことから、全業種DIは13.8 悪化し 37.9となった。次回予想は、全体で11.5 の改善予想となっている。

### 生産・販売状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	DI (A - C)
平成21年 1～3月		7.1	28.8	64.1	57.0
平成21年 4～6月		11.0	35.9	53.1	42.1
平成21年 7～9月		12.3	38.2	49.5	37.2
平成21年 10～12月		19.7	36.5	43.8	24.1
平成22年 1～3月		10.5	41.1	48.4	37.9
見通し 4～6月		14.9	43.8	41.3	26.4

### 業種別生産・販売状況(平成22年1月～3月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	DI (A - C)	前回調査 DI	次回予想 DI
製造業		14.3	39.0	46.7	32.4	1.0	13.3
卸売業		10.3	35.9	53.8	43.5	23.1	46.2
小売業		1.9	45.3	52.8	50.9	30.2	24.5
サービス業		16.7	48.3	35.0	18.3	29.8	30.5
建設業		13.2	31.5	55.3	42.1	32.0	32.9
不動産業		9.1	48.5	42.4	33.3	51.6	29.0
全体		10.5	41.1	48.4	37.9	24.1	26.4



### 3. 収益状況

前回に比べ、収益が「増加した」とする企業が6.4 減少、「減少した」とする企業が0.7 減少し、D Iは5.7 悪化し 37.9となった。

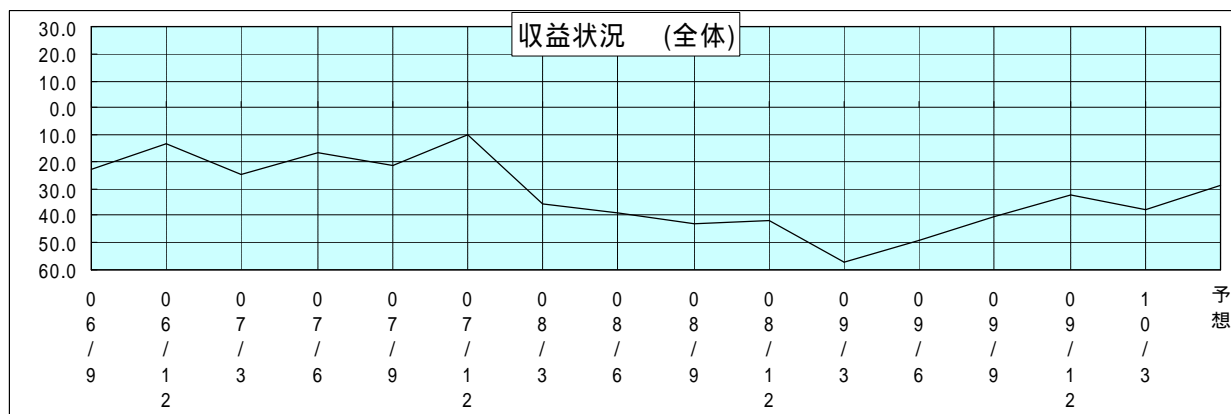
次回予想は、全体で8.8 の改善予想となっている。

#### 収益状況の推移

調査時点	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)
平成21年	1~3月	4.5	33.4	62.1	57.6
平成21年	4~6月	8.9	33.2	57.9	49.0
平成21年	7~9月	8.7	42.0	49.3	40.6
平成21年	10~12月	14.8	38.2	47.0	32.2
平成22年	1~3月	8.4	45.3	46.3	37.9
見通し	4~6月	10.8	49.3	39.9	29.1

#### 業種別収益状況 (平成22年1月~3月)

業種	変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		10.5	42.8	46.7	36.2	17.4	17.1
卸売業		7.7	43.6	48.7	41.0	28.3	43.6
小売業		2.8	46.3	50.9	48.1	37.8	28.3
サービス業		13.3	50.0	36.7	23.4	28.1	35.6
建設業		9.2	43.4	47.4	38.2	41.3	31.6
不動産業		9.1	48.5	42.4	33.3	51.6	35.4
全体		8.4	45.3	46.3	37.9	32.2	29.1



## 4. 在庫・販売価格・資金繰り状

### ○在庫

前回に比べ、在庫状況は「過剰」とする企業が2.0 減少、「不足」とする企業が2.4 減少し、D Iは0.4 低下し在庫調整は若干後退している。

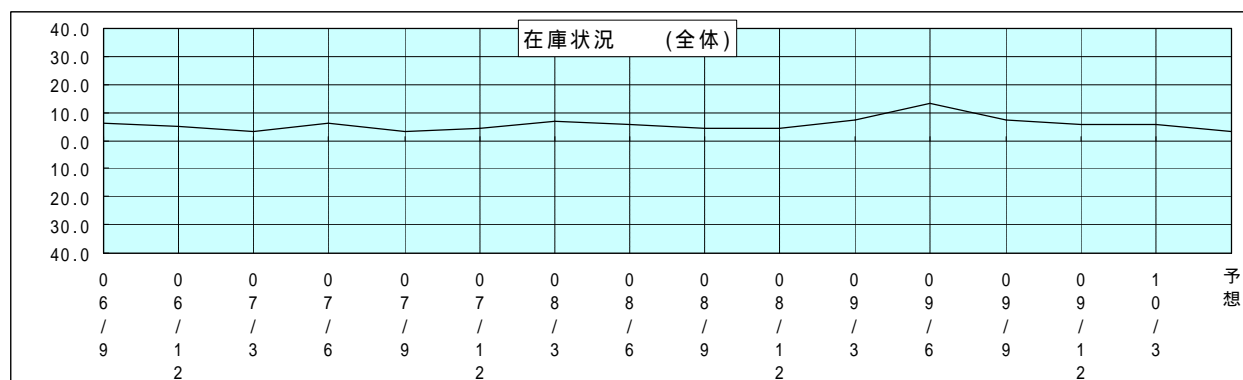
次回予想では、全業種で2.4 の改善予想である。

### 在庫状況の推移

変動		過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A - C)
調査時点					
平成21年	1～3月	15.7	76.0	8.3	7.4
平成21年	4～6月	19.5	74.1	6.4	13.1
平成21年	7～9月	15.2	77.2	7.6	7.6
平成21年	10～12月	14.8	75.8	9.4	5.4
平成22年	1～3月	12.8	80.2	7.0	5.8
見通し	4～6月	11.5	80.4	8.1	3.4

### 業種別在庫状況（平成22年1月～3月）

業種	変動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A - C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		13.3	80.0	6.7	6.6	2.9	0.9
卸売業		20.5	69.2	10.3	10.2	41.0	7.7
小売業		13.2	77.4	9.4	3.8	6.6	3.8
建設業		4.0	94.7	1.3	2.7	2.7	1.4
不動産業		21.2	69.7	9.1	12.1	17.2	9.4
全体		12.8	80.2	7.0	5.8	5.4	3.4



## 販売価格

販売価格は「上昇した」とする企業が0.2 増加、「下降した」とする企業は1.9 減少し、D Iは2.1 上昇し 18.9となった。業種別にみると卸売業、不動産業が他業種に比べ大幅に下まわっている。

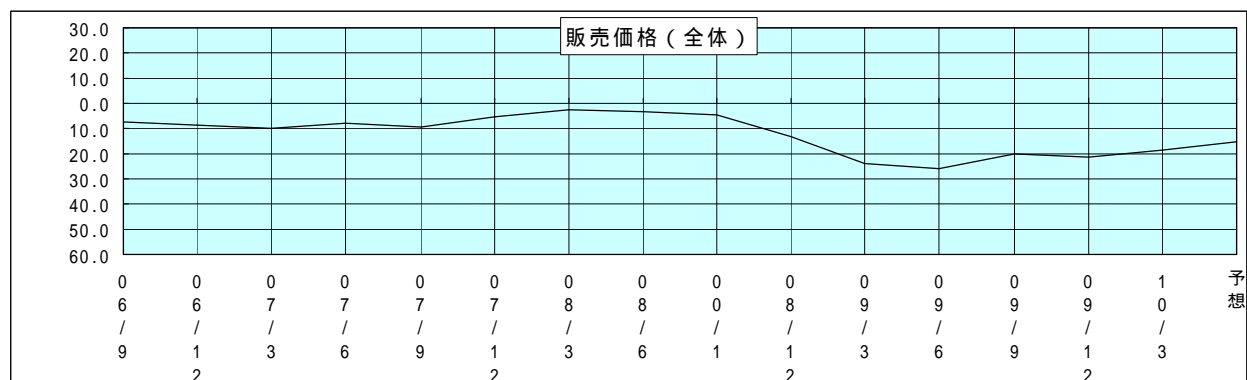
次回予想は、全体では3.3 の上昇である。

### 販売価格の推移

調査時点	変動			D I (A-C)
	上昇 A	変わらず B	下降 C	
平成21年 1～3月	4.3	67.7	28.0	23.7
平成21年 4～6月	4.8	64.1	31.1	26.3
平成21年 7～9月	4.3	71.4	24.3	20.0
平成21年 10～12月	3.4	72.2	24.4	21.0
平成22年 1～3月	3.6	73.9	22.5	18.9
見通し 4～6月	4.6	75.2	20.2	15.6

### 業種別販売価格状況（平成22年1月～3月）

業種	変動			D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
	上昇 A	変わらず B	下降 C			
製造業	1.0	82.8	16.2	15.2	10.7	7.6
卸売業	0.0	69.2	30.8	30.8	25.6	28.2
小売業	5.7	74.5	19.8	14.1	19.8	9.5
サービス業	3.3	78.4	18.3	15.0	12.2	15.2
建設業	7.9	61.8	30.3	22.4	33.3	26.4
不動産業	0.0	68.8	31.3	31.3	41.4	21.9
全体	3.6	73.9	22.5	18.9	21.0	15.6



## 資金繰り

前回に比べ「楽」とした企業が1.1 減少、「苦しい」とした企業が0.4 減少し、D Iは0.7 低下し 30.9 と小幅ながら悪化した。

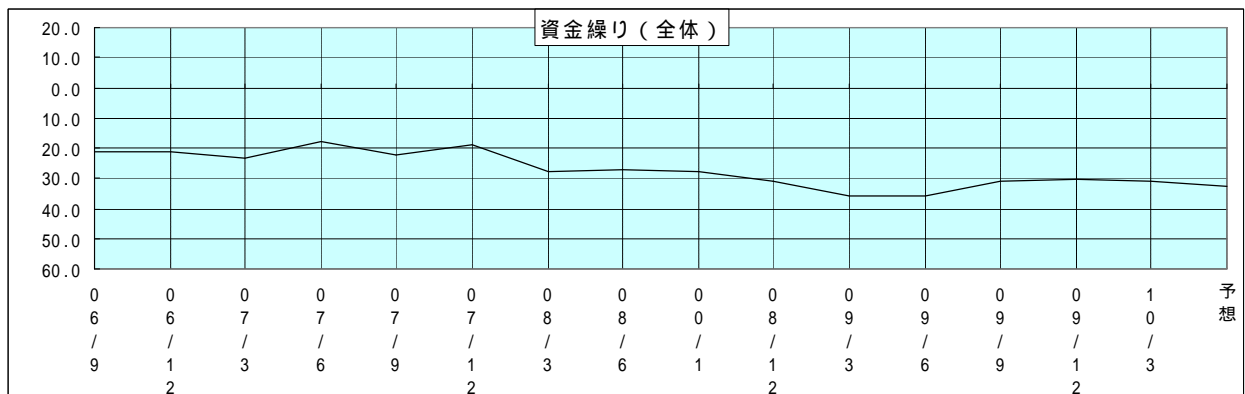
次回予想では、業種ごとに差はあるが、全体では今回より更に1.5 資金繰りが苦しくなる予想である。

### 資金繰り状況の推移

調査時点	変動	楽 A	変わらず B	苦しい C	D I (A-C)
平成21年	1～3月	3.6	57.1	39.3	35.7
平成21年	4～6月	3.6	56.8	39.6	36.0
平成21年	7～9月	4.3	60.4	35.3	31.0
平成21年	10～12月	5.4	59.0	35.6	30.2
平成22年	1～3月	4.3	60.5	35.2	30.9
見通し	4～6月	3.6	60.4	36.0	32.4

### 業種別資金繰り状況（平成22年1月～3月）

業種	変動	楽 A	変わらず B	苦しい C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製造業		8.6	56.2	35.2	26.6	17.4	27.6
卸売業		2.6	66.6	30.8	28.2	20.5	38.5
小売業		3.8	51.4	44.8	41.0	33.9	33.0
サービス業		3.3	73.4	23.3	20.0	38.6	25.4
建設業		1.3	64.5	34.2	32.9	40.0	39.5
不動産業		3.0	63.7	33.3	30.3	33.4	34.4
全体		4.3	60.5	35.2	30.9	30.2	32.4



## 5. 雇用面の動き

### ○ 残業時間

前回に比べ「増加した」とする企業は 1.1 増加、「減少」したとする企業は 5.2 減少し、D I は 6.3 改善し 10.9 となった。

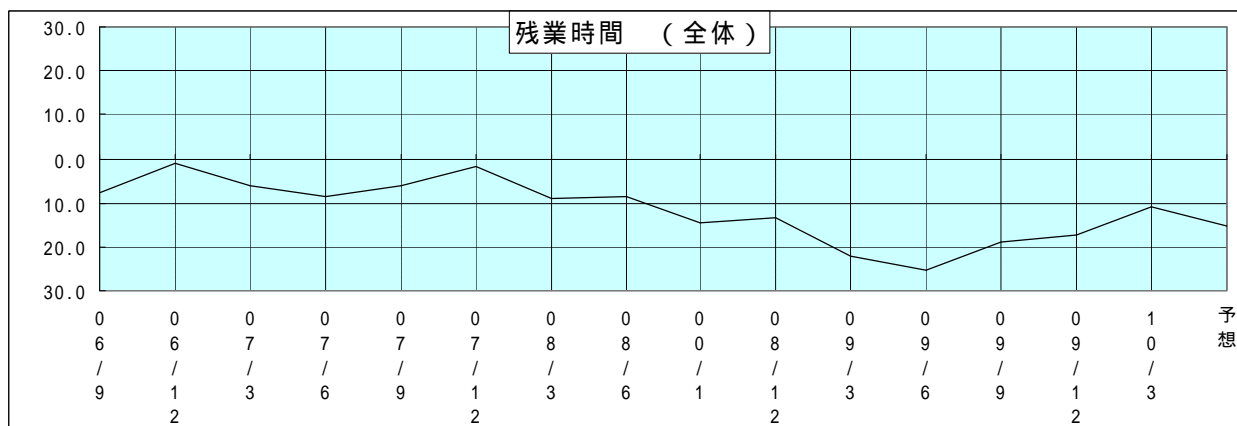
次回予想は、4.3 の悪化見通しとなっている。

### 残業時間状況の推移

変動		増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)
調査時点					
平成21年	1～3月	3.3	71.2	25.5	22.2
平成21年	4～6月	4.1	66.6	29.3	25.2
平成21年	7～9月	5.6	70.0	24.4	18.8
平成21年	10～12月	6.4	70.0	23.6	17.2
平成21年	1～3月	7.5	74.1	18.4	10.9
見通し	4～6月	3.9	77.0	19.1	15.2

### 業種別残業時間状況（平成22年1月～3月）

変動		増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
業種							
製造業		13.5	64.4	22.1	8.6	22.3	19.2
卸売業		7.7	74.4	17.9	10.2	7.7	15.3
小売業		4.8	82.8	12.4	7.6	10.6	6.7
サービス業		8.6	62.1	29.3	20.7	17.6	20.7
建設業		4.0	76.0	20.0	16.0	31.1	21.4
不動産業		3.1	93.8	3.1	0.0	0.0	6.3
全体		7.5	74.1	18.4	10.9	17.2	15.2



## 人 手

前回と比べ、「過剰」であるとした企業は 0.1 減少、「不足」とする企業が 2.1 減少し、D I は 2.0 増加し 1.2 となった。業種により過剰、不足のバラツキが目立つ。

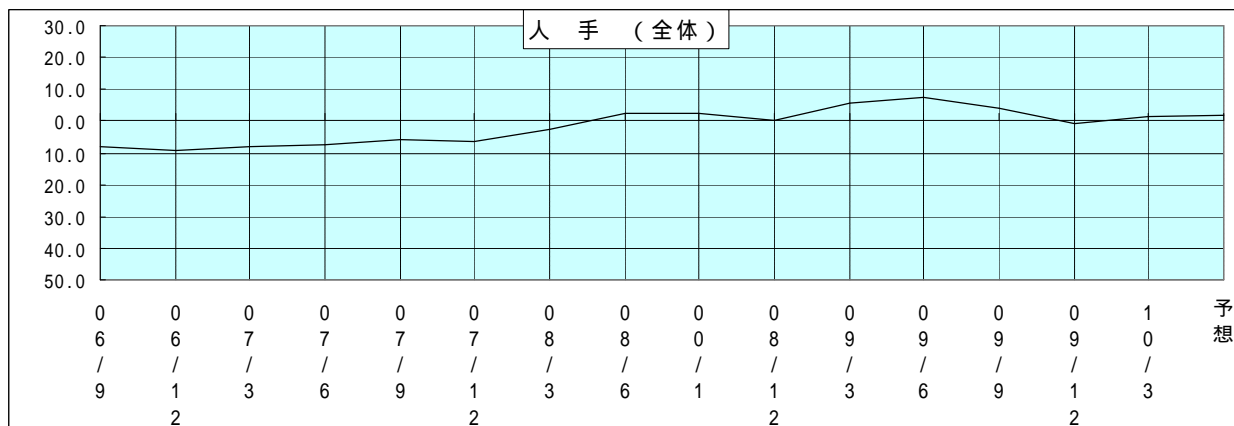
次回予想では、製造業が D I 10.6 と過剰、小売業が D I 6.6 不足予想であるが、他の業種ではほぼ適正水準といえる。

### 人 手 の 状 況 推 移

変 動		過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)
調査時点					
平成21年	1～3月	15.5	74.5	10.0	5.5
平成21年	4～6月	17.6	72.3	10.1	7.5
平成21年	7～9月	13.8	76.3	9.9	3.9
平成21年	10～12月	11.2	76.8	12.0	0.8
平成22年	1～3月	11.1	79.0	9.9	1.2
見通し	4～6月	10.9	79.9	9.2	1.7

### 業 種 別 人 手 状 況 (平成22年1月～3月)

業 種	変 動	過剰 A	適正 B	不足 C	D I (A-C)	前回調査 D I	次回予想 D I
製 造 業		18.3	72.1	9.6	8.7	3.8	10.6
卸 売 業		10.3	82.0	7.7	2.6	2.5	2.6
小 売 業		4.8	83.8	11.4	6.6	5.7	6.6
サ ー ビ ス 業		18.6	71.2	10.2	8.4	0.0	1.7
建 設 業		9.3	80.0	10.7	1.4	0.0	1.3
不 動 産 業		0.0	93.7	6.3	6.3	0.0	0.0
全 体		11.1	79.0	9.9	1.2	0.8	1.7



## 6. 経営上の問題点・当面の重点経営施策

経営上の問題点及び重点経営施策については、業種により項目の順位が入れ替わった程度で大きな変化は見られない。

### 経営上の問題点 (複数回答 単位：%)

業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	売上の停滞・減少	61.9	利幅の縮小	28.6	同業者間の競争激化	27.6	合理化の不足	13.3
卸売業	売上の停滞・減少	64.1	同業者間の競争激化	46.2	利幅の縮小	20.5	流通経路の変化による競争の激化	12.8
小売業	売上の停滞・減少	60.4	利幅の縮小	33.0	大型店との競争激化	25.5	同業者間の競争激化	25.5
サービス業	売上の停滞・減少	51.7	同業者間の競争激化	38.3	利幅の縮小	16.7	料金の値下げ要請	13.3
建設業	売上の停滞・減少	63.2	同業者間の競争激化	56.6	利幅の縮小	50.0	代金回収の悪化	14.5
不動産業	利幅の縮小	42.4	売上の停滞・減少	39.4	同業者間の競争激化	30.3	商品物件の不足	15.2

### 当面の重点経営施策 (複数回答 単位：%)

業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	経費を節減する	67.6	販路を広げる	53.3	新製品・技術を開発する	29.5	情報力を強化する	25.7
卸売業	販路を広げる	66.7	経費を節減する	61.5	情報力を強化する	28.2	品揃えを充実する	20.5
小売業	経費を節減する	68.9	品揃えを改善する	34.9	売れ筋商品を取扱う	25.5	宣伝・広告を強化する	18.9
サービス業	経費を節減する	68.3	販路を広げる	40.0	宣伝・広告を強化する	23.3	情報力を強化する	21.7
建設業	経費を節減する	63.2	販路を広げる	48.7	情報力を強化する	40.8	技術力を高める	32.9
不動産業	情報力を強化する	45.5	経費を節減する	42.4	販路を広げる	36.4	宣伝・広告を強化する	30.3

・平成22年度・第1四半期の景況見通しについて

業況の見通しは、全体では0.1 上昇のほぼ横ばいとなっており、各業種とも厳しく、明るい兆しが見えてこない状況である。

生産販売の見通しは、全体では11.5 の上昇となっている。しかしサービス業については12.2 低下する予想となっている。

収益見通しは、全体では8.8 の上昇となっている。なかでも製造業は19.1 上昇しD I 17.1と平均より大きく上回る予想となっている。

平成22年度・第1四半期(平成22年4月～6月)の業況見通し

業種 \ 変動	良い A	普通 B	悪い C	D I (A - C)	22年1～3月 D I
製造業	11.4	38.1	50.5	39.1	45.7
卸売業	7.7	35.9	56.4	48.7	48.7
小売業	7.5	39.7	52.8	45.3	49.1
サービス業	5.0	48.3	46.7	41.7	33.3
建設業	5.3	36.0	58.7	53.4	46.7
不動産業	3.0	45.5	51.5	48.5	45.5
全体	7.4	40.0	52.6	45.2	45.3

平成22年度・第1四半期(平成22年4月～6月)の生産販売見通し

業種 \ 変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A - C)	22年1～3月 D I
製造業	22.9	40.9	36.2	13.3	32.4
卸売業	5.1	43.6	51.3	46.2	43.5
小売業	13.2	49.1	37.7	24.5	50.9
サービス業	11.9	45.7	42.4	30.5	18.3
建設業	14.5	38.1	47.4	32.9	42.1
不動産業	12.9	45.2	41.9	29.0	33.3
全体	14.9	43.8	41.3	26.4	37.9

平成22年度・第1四半期(平成22年4月～6月)の収益見通し

業種 \ 変動	増加 A	変わらず B	減少 C	D I (A - C)	22年1～3月 D I
製造業	16.2	50.5	33.3	17.1	36.2
卸売業	2.6	51.2	46.2	43.6	41.0
小売業	11.3	49.1	39.6	28.3	48.1
サービス業	6.8	50.8	42.4	35.6	23.4
建設業	11.8	44.8	43.4	31.6	38.2
不動産業	6.5	51.6	41.9	35.4	33.3
全体	10.8	49.3	39.9	29.1	37.9

問 1. 近年、物価や地価などの下落といった、いわゆる「デフレ」が進展していますが、貴社の企業経営にとってどのように影響していますか。下記の中から1つ選んでお答え下さい。

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 悪影響ばかりである         | 4. どちらかといえば好影響のほうが多い |
| 2. どちらかといえば悪影響のほうが多い | 5. 好悪の影響は拮抗している      |
| 3. 好影響ばかりである         | 6. 好悪とも影響はない         |

業種		回答No	1	2	3	4	5	6
製造業			18	65	0	0	8	14
小売業			28	56	0	1	3	18
卸売業			10	20	1	1	3	4
サービス業			5	33	0	1	7	12
建設業			18	39	1	0	6	10
不動産業			7	16	0	0	5	4
合計	回答者数		86	229	2	3	32	62
	回答割合		20.8%	55.3%	0.5%	0.7%	7.7%	15.0%

問 2. 貴社の企業経営上、デフレの進展によるマイナス面の影響度合いが大きいものについて、下記の中から3つ以内で選んでお答え下さい。

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 1. 他社との価格競争の激化       | 6. 遊休地の売却・活用が困難化    |
| 2. 販売価格・発注単価の引下げ要求   | 7. 消費マインドの低迷        |
| 3. 中国等海外からの安価な輸入品の脅威 | 8. 倒産・失業の増加など社会の不安定 |
| 4. 低金利等による余剰資金の運用難   | 9. 商店街・地域経済の衰退      |
| 5. 担保価値目減り等による資金調達難  | 0. 特になし             |

業種		回答No	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
製造業			49	36	34	0	1	2	34	20	10	8
小売業			50	20	6	1	5	1	46	12	45	0
卸売業			22	13	8	0	1	0	16	4	9	4
サービス業			32	12	2	1	2	0	16	11	13	6
建設業			48	28	2	2	5	5	14	19	14	6
不動産業			5	5	0	0	1	7	11	10	4	8
合計	回答者数		206	114	52	4	15	15	137	76	95	32
	回答割合		27.6%	15.3%	7.0%	0.5%	2.0%	2.0%	18.4%	10.2%	12.7%	4.3%

問 3. デフレが進展する中、貴社ではどのような経営方針を採用しますか。下記の中から3つ以内で選んでお答え下さい。

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1. 販売価格・受注単価を引下げ | 6. 外国人労働者の受入       |
| 2. 高付加価値化で差別化を図る | 7. 中国等海外への進出、輸入の活用 |
| 3. 仕入原価の削減       | 8. 借入金の返済          |
| 4. 設備投資の積極化      | 9. 新商品開発、新分野進出     |
| 5. 従業員数や賃金の見直し   | 0. 特にデフレ対策は講じない    |

業種		回答No									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
製造業		26	37	27	4	20	3	6	7	24	20
小売業		26	28	29	3	14	0	1	17	8	32
卸売業		14	11	12	0	7	0	0	4	4	10
サービス業		4	15	12	2	16	0	0	4	4	23
建設業		21	18	26	2	14	0	0	11	2	23
不動産業		7	4	8	0	2	0	0	1	0	21
合計	回答者数	98	113	114	11	73	3	7	44	42	129
	回答割合	15.5%	17.8%	18.0%	1.7%	11.5%	0.5%	1.1%	6.9%	6.6%	20.3%

問 4. デフレ不況に対して政府のとるべき施策について、下記の中から3つ以内で選んでお答え下さい。

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 1. 信用保証条件の緩和など金融対策  | 6. 所得税・法人税などの税制改革      |
| 2. 公共事業などによる需要創出策   | 7. セ - フガ - ドなど輸入規制の発動 |
| 3. 規制緩和や民営化による需要喚起策 | 8. 不当廉売など不公正取引の規制強化    |
| 4. 日銀による資金供給の拡大     | 9. 大型店の出店規制の強化         |
| 5. 円安への誘導策、株価の高揚策   | 0. 政府に期待していない          |

業種		回答No									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
製造業		35	28	19	9	23	40	5	6	2	27
小売業		23	13	14	10	7	35	1	14	28	34
卸売業		14	10	6	0	9	16	1	3	2	13
サービス業		11	14	9	7	6	21	3	0	1	18
建設業		22	45	10	8	10	27	1	3	2	20
不動産業		11	7	4	2	2	12	0	1	0	15
合計	回答者数	116	117	62	36	57	151	11	27	35	127
	回答割合	15.7%	15.8%	8.4%	4.9%	7.7%	20.4%	1.5%	3.7%	4.7%	17.2%

問 5 . 現在のデフレ不況から回復するきっかけとして、貴社が期待するものはありますか。下記の中から3つ以内で選んでお答え下さい。

- |                        |                      |
|------------------------|----------------------|
| 1 . 政府による何らかの需要刺激策     | 6 . オリンピック、万博などのイベント |
| 2 . 選挙などの日本の政治の変化      | 7 . 地元特有のイベント        |
| 3 . 海外経済の回復・成長         | 8 . その他( )           |
| 4 . 大ヒット商品出現による社会構造の変化 | 9 . きっかけはなくともいずれ回復する |
| 5 . 医療・環境などの新産業分野の振興   | 0 . 当面は回復しない         |

業種		回答No									
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
製造業		58	12	21	11	6	2	9	1	5	35
小売業		45	14	8	17	5	1	17	0	7	44
卸売業		17	2	7	0	3	0	4	0	0	21
サービス業		28	7	8	4	7	2	4	0	5	19
建設業		43	10	11	2	5	4	9	0	1	26
不動産業		17	5	8	0	4	1	1	0	1	13
合計	回答者数	208	50	63	34	30	10	44	1	19	158
	回答割合	33.7%	8.1%	10.2%	5.5%	4.9%	1.6%	7.1%	0.2%	3.1%	25.6%

### 「デフレ不況下の中小企業経営」のまとめ

(景気動向調査の有効回答先からの複数回答方式で調査したものです。)

1. 企業にとってデフレの影響は「悪影響ばかりである」「どちらかといえば悪影響のほうが多い」の両方で76.1%を占め、デフレ不況が深刻化している。
2. デフレの進展によりマイナス面の影響度合いが大きいものは、「他社との価格競争の激化」や「消費マインドの低迷」の回答が多く、経営の圧迫が懸念される。
3. デフレが進展する中での経営方針は「特にデフレ対策は講じない」がトップで、続いて「仕入原価の削減」「高付加価値化で差別化を図る」の順となっている。
4. デフレ不況に対して政府のとるべき施策は、「所得税・法人税などの税制改革」がトップであるが、「政府に期待していない」も2番目に多い。
5. デフレ不況の回復に期待するものは、「政府による何らかの需要刺激策」がトップで、続いて「当面は回復しない」の順となっている。